

## 4 貸館について

### (1) 貸館の必要性と指定管理者制度導入の検討

県の施設として貸館の必要性と指定管理者制度導入について検討を行う。

#### <対応策>

貸館の必要性の検討とともに、指定管理者制度の情報収集を行い、導入について検討を進める。

#### <検討・取組結果>

ア 利用者アンケートを実施した。

イ 他県の施設の状況を調査して、導入した場合のメリット、デメリットを検討した。

#### 【貸館の必要性】

貸館は現行どおり継続する。

#### [理由]

- ・ 貸館施設は各種学習活動場所を提供するとともに、県営の施設として市町村域を超えた団体の育成や支援を行うことができ、継続することが有効である。貸出を団体に限定することで、生涯学習団体の育成を図るとともに、市町村の行う生涯学習活動等を普及、推進、支援する機能を有している。
- ・ 当センター利用者のアンケートにおいて、95%の人が必要であると回答しており、(P26資料1-11参照)年間利用者25万人の内6割に当たる15万人が貸館利用者である。

#### 【指定管理者制度導入】

指定管理者制度は導入しない。

#### [理由]

- ・ 当センターは、本県の社会教育・生涯学習振興施策を実施するための中核的施設であり、市町村や各種団体等に対する指導的な役割を担うことを目的としている。貸館と一体で運営することで、一層効率的にその目的を達成することが出来る。貸出の際には甲乙の料金制度により、生涯学習団体とそうでない団体との利用料金を差別化したり減免措置を講じたりして、生涯学習の振興を図る施設であることを明確化して運営している。
- ・ 貸館業務に指定管理者制度を導入した場合、経費削減や職員の業務軽減が期待できるが、指定管理者選定や契約に係る事務、導入後の適正な運営の確認など、制度導入に伴う新たな業務を勘案すると、大きなメリットとまでは言えない。
- ・ 当センターは、生涯学習推進（貸館、情報相談フロア等）に加えて、少年科学の推進（少年科学館）及び県の視聴覚センターの機能を併せ持つ複合施設で有り、相互の密接な連携によって成り立っているため、貸館業務を含めた一体的な運営により、効果的に管理・運営を行うことができる。

#### ◇ 勤務状況

	定数	昼休み		夜間 火～土 240日 17:15～22:00	昼間 8:30～17:15 開館日 305日	
		火～土 240日 12:00～13:00	日曜・祝日 65日 11:00～13:00		平日	日祝日
正規職員	14	1	← 1 →	1	1	1
嘱託(夜間)	2		← 1 →	1	(1)	1
嘱託(多目)	1					
臨時	4	1	← 1 →		2	1
合計		2	2 2	2	3	3

◇ 指定管理者制度導入他県施設アンケート調査結果より抜粋（H25年度調査）

指定管理者制度導入の場合	
メリット	デメリット
<ul style="list-style-type: none"> <li>・民間の持っているノウハウを活かした運営が容易になる</li> <li>・事業の効率化が図れる</li> <li>・経費の削減が図れる</li> <li>・利用者へのサービスの向上が期待できる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市町村や社会教育団体との連携が図りづらい</li> <li>・地方公共団体と指定管理者の運営に関する意識の違いがある</li> <li>・国や県の基本計画等に沿った事業運営が図りづらい</li> <li>・業務に関する責任の所在が明確でない</li> <li>・調査研究における地域課題等の把握がしづらい</li> </ul>

\*指定管理者制度についてのアンケート調査を参考（P 3 6 資料 9 参照）

(2) 料金改定による利用者増加

料金体系の見直しを行い利用者の増加を図る。

<対応策>

- ア アンケートを実施し検証した結果を基に料金体系を検討し、料金体系の一本化を図る。
- イ 稼働率の低い施設（会議室・視聴覚スタジオ等）の料金を検討し、料金の再設定を行う。

<検討・取組結果>

- ア 料金体系の一本化は行わず現行の甲乙二段階の料金体系を維持する。  
[理由]  
センターの設置目的である「県民の生涯にわたる学習活動を促進するため」を進める上では、生涯学習活動を行う団体とそれ以外の団体で利用料金を区分することは、政策的に有効な手段である。
- イ 稼働率の低い施設について、料金改定や用途の変更により利用率向上を検討している。
  - (ア) 空スペースを有効活用し、経費をかけずに第5研修室にして貸出しを開始した。
  - (イ) 倉庫として使用していた旧データバンク室を教育関係団体へ団体事務室として使用を許可した。
  - (ウ) 音楽調整室などの施設について、日頃の利用者からの要望やアンケート結果を勘案のうえ、利用し易い環境を整える検討を継続している。

(3) 利用者の拡大

利用者を増加させるための取り組みを行う。

<対応策>

- ア 民間企業への貸出基準緩和と周知によって利用者増を図る。
- イ 個人へ貸出する基準を検討し、個人への貸出を新たに開始する。

<検討・取組結果>

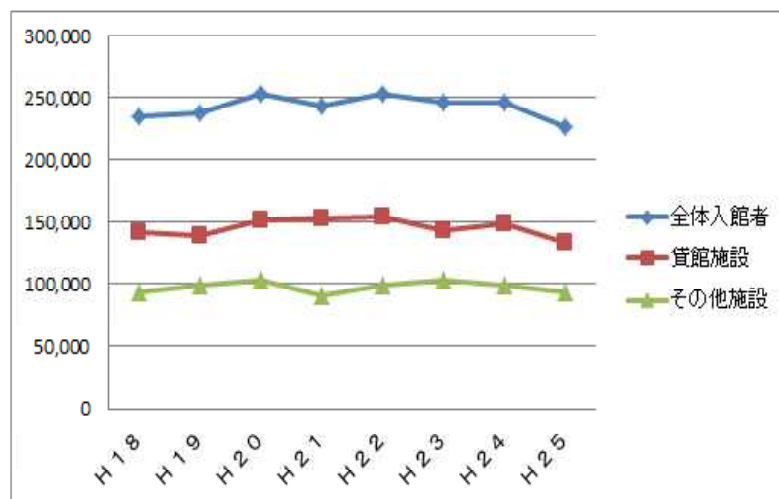
- ア 営利を伴わない企業内研修等に対しては乙料金での貸し出しをしている。
- イ 個人への貸出しについて検討した結果、センターの設置目的にそぐわないため実施を見送った。

- ウ 利用者からの要望事項等を考慮した、館の内規やマニュアルを見直し、より利用し易い環境を整えている。
- エ 屋外掲示板にセンターのイベント案内等を掲示して利用者への情報提供を継続している。

◇生涯学習センター入館者の推移

	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
全体入館者	234,619	238,046	253,081	242,661	253,103	245,858	246,353	226,925
貸館施設	141,536	139,605	150,924	152,440	153,956	143,083	148,439	133,367
その他施設	93,083	98,441	102,157	90,221	99,147	102,775	97,914	93,558

(単位：人)



(4) 予約方法の改善

利用者を増加させるため予約方法の改善を行う。

<対応策>

予約方法を検討し、利用者の利便性の高い予約方法に改善する。

<検討・取組結果>

- ア インターネット申込者の利便性を考慮し、使用料納付期限を1週間前とした。(前：2週間前)
- イ 施設予約システム(ぐんま電子申請等受付システム)の更新にあたり、当センター利用者から要望のあった事項についての改善を情報政策課に依頼した。

(5) 休館日の拡大

施設全体での経費節減のため休館日の拡大を図る。

<対応策>

利用者の少ない日について休館日とすることを検討し、利用者へ周知して休館日の拡大を図る。

<検討・取組結果>

現状維持とし利用者からの要望を順次改善しながら、更なる利用者増を図る。

[理由]

- ・ 利用者の中には定期的に利用している団体があり、週の中の特定の日付を休館とすることは難しい。
- ・ 入館者が300人未満は、年間10日以内であり、100人未満は、平成23年に1日、平成25年に2日である。300人未満の日は、冬期に多いが、特定の月や日に集中していないため、休館の日を設定することは難しい。
- ・ 比較的入館者の少ない冬期間だけ休館日を増やした場合、以下のとおり経費面の節減は若干見込めるが、100人からの県民に対するサービスの低下につながるため休館日の拡大は好ましくない。

□人件費

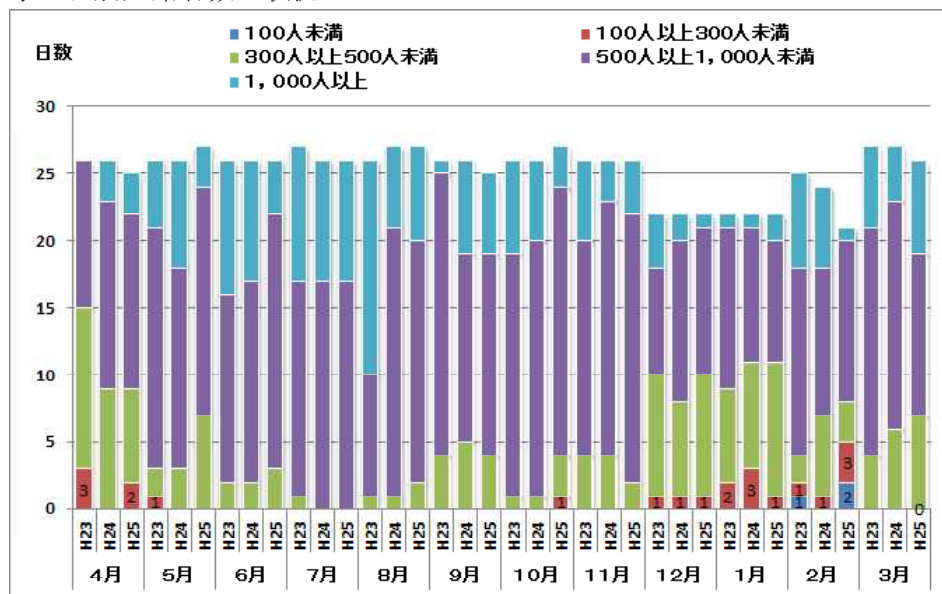
受付業務は嘱託職員・臨時職員・正規職員がローテーションで対応しており、休館日を月1日増やした場合、臨時職員4人のうち2人の勤務を月13日勤務にすることは可能である。(現在、臨時職員は月14日勤務)

□光熱水費

平成24年度から深夜電力を活用したESCO事業を実施しており、年末年始他の休館の間もエネルギー効率の観点から稼働している。

また、増加した休館日は、センター職員及び入居団体は出勤しているため、通常開館日と比較し、電気量約1,000kWh、約16,000円減である。

◇ 日別入館者数の状況



◇ 年末年始における消費電力量

年月日	開館の状況	消費電力[kWh]
H25/1/3	休館日(職員出勤無)	442
H25/1/4	休館日(職員出勤有)	2,450
H25/1/9	通常開館	3,436

\*開館時間を考慮して8時から翌日8時を消費電力の積算時間とした

### Ⅲ 今後の取組みの方向

#### 1 基本的な運営について

##### (1) 経費の節減

- ア 平成24年度から稼働しているESCOサービスについての検証を進めて、より効率の良い運営を行い光熱水費等の節減を図る。
- イ 各種委託事業の見直し検討を行い委託経費を節減する。
- ウ 利用者への省エネ、節電の呼びかけを行い更なる節電を図る。

##### (2) 館の施設の改修及び修繕

- ア 開館から25年以上が経過して改修が必要となった建物や設備等の長期修繕計画を策定して長寿命化を図る。
- イ 時代の要請に沿った施設にリニューアルする。

##### (3) 積極的な広報について

- ア 利用者の新規開拓のためのより積極的な広報活動を行う。
- イ 県の各種広報媒体を活用して施設の良さを知ってもらう活動を行う。
- ウ 利用し易いホームページを検討して更新を行う。
- エ 地元の「生きがい塾」に代表されるような地域との良好な関係を築く。

#### 2 生涯学習振興について

##### (1) 地域の学びを支える人材の育成

- ア 地域における社会教育の振興を図るため、市町村職員を対象とした研修を充実・強化する。
- イ 多様化する地域課題に対応するため、地域の社会教育を支える多種多様な人材を発掘し、情報を提供する。
- ウ 家庭教育指導者の養成など家庭教育や子育て支援に係る人材を育成する。

##### (2) 多様な課題に対応した学習機会の充実

- ア 新しい学習プログラムの開発及び実施、専門的な指導者の養成、関係機関と連携した総合的な生涯学習推進体制の強化を図る。
- イ 県民が直面する課題解決のため、多様な学習情報や学習機会を提供するとともに、その成果を生かして地域づくり等に参画できるような仕組みをつくる。
- ウ 生涯学習・社会教育の動向を踏まえ、課題解決支援に向けた関係者の人材育成及び資質の向上を図る。

#### 3 少年科学教育推進について

##### (1) 利用促進について

- ア 地域団体や各種学校等への広報活動を積極的に行って利用を呼び掛ける。
- イ 実施するイベントの内容をよく吟味して魅力あるものにするとともに、来館者が満足できるよう工夫した取組を行って利用者を増やす。
- ウ 学校利用のない平日の午前中の来館者増に向けて、新しいイベント・企画を検討する。

(2) **プラネタリウムや科学展示物の更新について**

ア 現在のプラネタリウムを効果的に活用するだけでなく、新機種導入の検討の是非について情報を収集する。

イ 科学展示物の更新に向けて効果的な導入を図れるよう継続的に検討する。

(3) **サービスの質の向上について**

ア 学校利用等の団体利用については、利用者のニーズを的確に把握して、きめ細かな対応をする。

イ WEBの更新を適切に行って利用者への積極的に情報を提供する。

ウ 来館者や連携機関の職員への、細やかな気配りのできる体制づくりを積極的に推進する。

(4) **指導者や職員の指導力の向上について**

ア サイエンスインストラクターの会員を増やすことができるよう関係機関に働きかけるとともに、会員の指導力向上を図る取り組みを充実する。

イ 少年科学館の職員同士が互いの資質を向上させることができるよう、係内における研修時間を確保する。

ウ 新しい科学的な知識や情報を係内で共有し合い、新教材の作成や科学展示室の掲示物に活かす。

## 4 貸館について

(1) **利用者の増加**

ア 利用者からの要望の多い施設の改修や付属設備を更新する。

イ 新規登録団体を増やすために、活動を希望する仲間の仲介を行う。

(2) **施設維持管理**

ア 利用者の需要の多い施設への改修や改良を行う。

イ 経年劣化した設備等の改修を順次行うための予算を確保する。

(3) **利用者サービスの向上**

ア ぐんま電子申請等受付システムに利用者から要望を反映できるようにする。

イ 館内の案内掲示等をより見やすいものに更新する。

ウ 利用者アンケートの充実を図り、利用者の意見を施設運営に活かす。

## ○別添資料

## 1 貸館利用者アンケート実施結果 (抜粋)

H22 年度実施

## ○ 回答状況

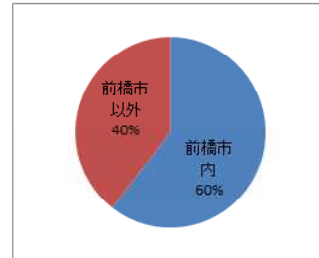
1 配付団体数	153 団体
2 配付枚数	1,857 枚
(1 団体あたりの平均配付枚数)	12 枚
3 回答者数	1,281 人
4 回答率	69 %

5 実施日	平成22年8月9日～9月20日
6 実施方法	受付窓口において配布、回収

## ○ 回答(抜粋)

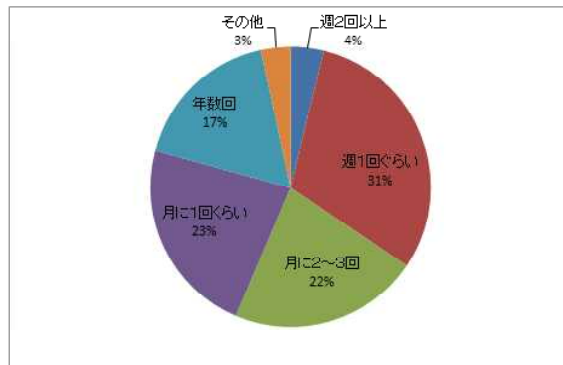
1 あなたはどちらにお住まいですか。

	人数	比率(%)
前橋市内	773	61
前橋市以外	505	40
計	1,278	100



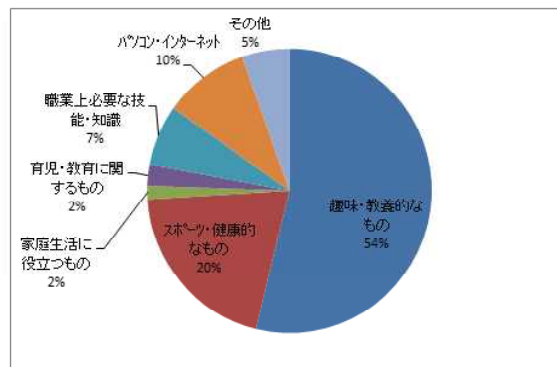
2 どのくらいの頻度で利用していますか。

	人数	比率(%)
週2回以上	48	4
週1回くらい	386	31
月に2～3回	276	22
月に1回くらい	287	23
年数回	219	17
その他	43	3
計	1,259	100



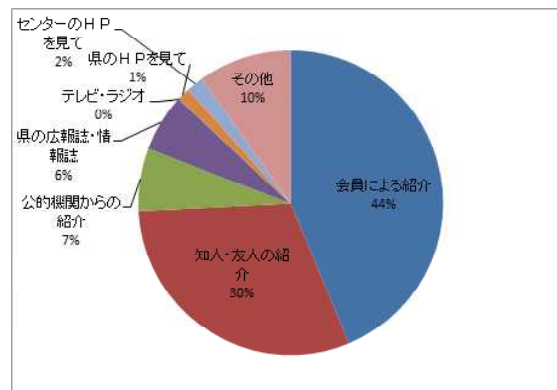
3 どのような活動(目的)で利用していますか。(複数回答)

	人数	比率(%)
趣味・教養的なもの	737	54
スポーツ・健康的なもの	277	20
家庭生活に役立つもの	21	2
育児・教育に関するもの	33	2
職業上必要な技能・知識	94	7
パソコン・インターネット	134	10
その他	74	5
計	1,370	100



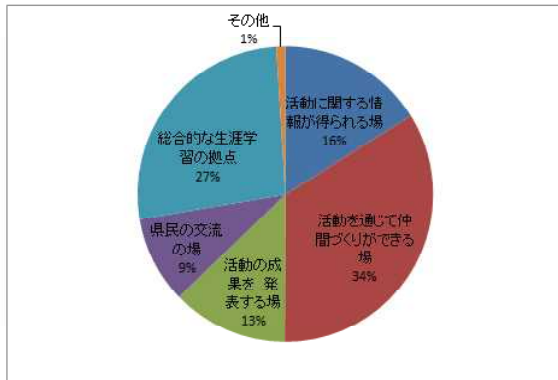
4 どのような経緯で利用するようになりましたか。

	人数	比率(%)
会員による紹介	538	44
知人・友人の紹介	374	30
公的機関からの紹介	81	7
県の広報誌・情報誌	74	6
テレビ・ラジオ	1	0
県のHPを見て	16	1
センターのHPを見て	23	2
その他	122	10
計	1,229	100



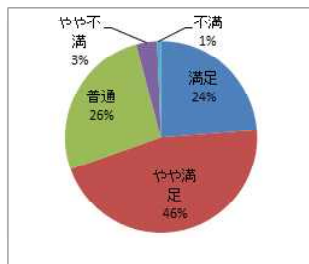
5 生涯学習センターにはどのような役割があると思いますか。(回答3つまで)

	人数	比率(%)
活動に関する情報が得られる場	381	16
活動を通じて仲間づくりができる場	800	34
活動の成果を 発表する場	300	13
県民の交流の場	225	10
総合的な生涯学習の拠点	630	27
その他	23	1
計	2,359	100

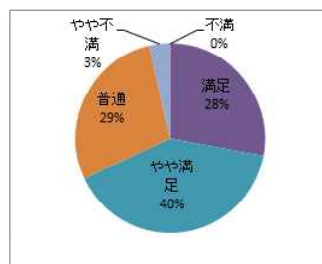


6 生涯学習センターの満足度(評価)についてうかがいます。

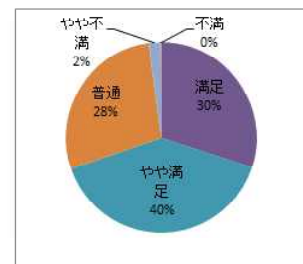
項目		満足	やや満足	普通	やや不満	不満	計
施設・設備の充実度について	人数	295	569	327	44	8	1,243
	比率(%)	24	46	26	4	1	100
施設・設備の安全性について	人数	341	487	348	42	1	1,219
	比率(%)	28	40	29	3	0	100
施設の清潔度について	人数	368	483	345	24	2	1,222
	比率(%)	30	40	28	2	0	100
実施している講座やイベントについて	人数	214	430	403	24	5	1,156
	比率(%)	19	37	42	2	0	100
情報の提供について	人数	147	361	568	74	13	1,163
	比率(%)	13	31	49	6	1	100



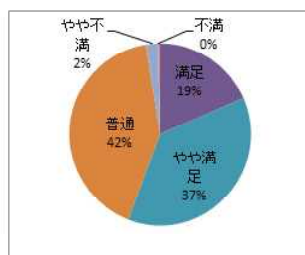
充実度



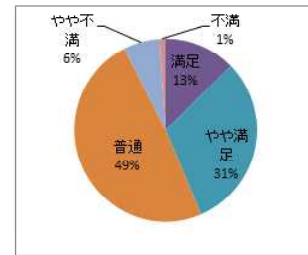
安全性



清潔度



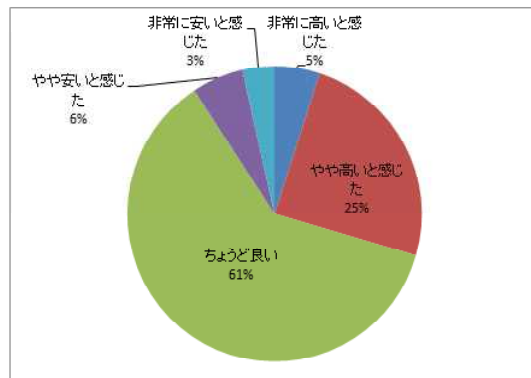
講座・イベント



情報の提供

7 使用料はいかがですか。

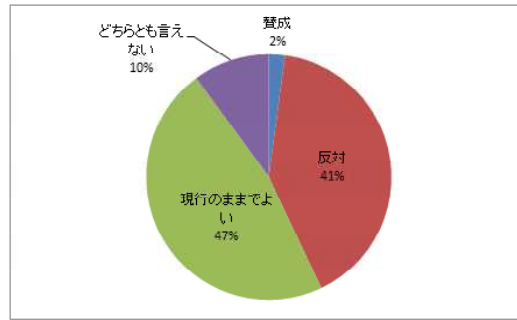
	人数	比率(%)
非常に高いと感じた	55	5
やや高いと感じた	274	25
ちょうど良い	682	61
やや安いと感じた	63	6
非常に安いと感じた	39	4
計	1,113	100





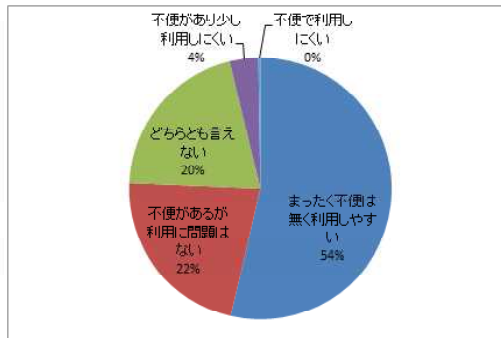
8 使用料の値上げについて

	人数	比率(%)
賛成	25	2
反対	481	41
現行のままでよい	553	47
どちらとも言えない	119	10
計	1,178	100



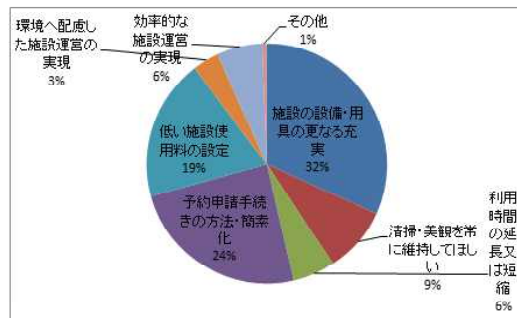
9 利用時間に不便はありませんか。

	人数	比率(%)
まったく不便は無く利用しやすい	638	54
不便があるが利用に問題はない	262	22
どちらとも言えない	244	21
不便があり少し利用しにくい	42	4
不便で利用しにくい	3	0
計	1,189	100



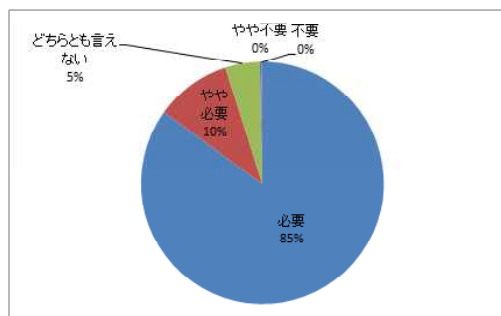
10 あなたは、今後この施設にどのような運営を望みますか。

	人数	比率(%)
施設の設備・用具の更なる充実	350	32
清掃・美観を常に維持してほしい	99	9
利用時間の延長又は短縮	63	6
予約申請手続きの方法・簡素化	268	24
低い施設使用料の設定	210	19
環境へ配慮した施設運営の実現	39	4
効率的な施設運営の実現	67	6
その他	7	1
計	1,103	100



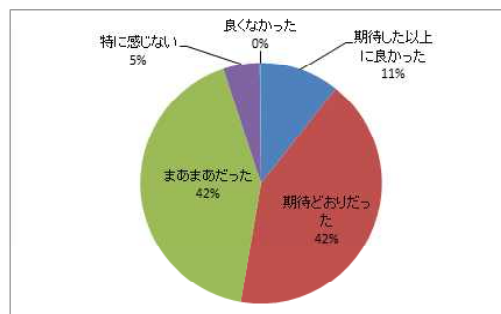
11 こちらの施設の必要性についてどのように思いますか。

	人数	比率(%)
必要	1,015	85
やや必要	121	10
どちらとも言えない	55	5
やや不要	3	0
不要	1	0
計	1,195	100



12 あなたが思ってる当施設の総合的な印象についてうかがいます。

	人数	比率(%)
期待した以上に良かった	126	11
期待どおりだった	499	42
まあまあだった	501	42
特に感じない	58	5
良くなかった	2	0
計	1,186	100



## 2 貸館利用団体アンケート実施結果（抜粋）

H24 年度実施

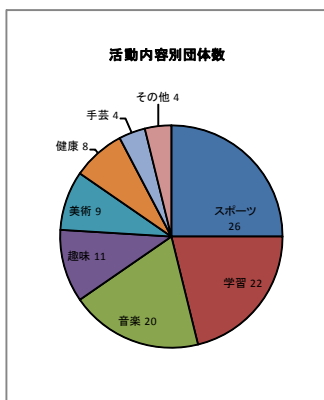
### 貸し館利用団体アンケート(抜粋)

実施期間：平成25年1月4日～1月31日  
 調査対象：群馬県生涯学習センター貸室利用団体  
 調査方法：受付窓口において配付・回収  
 回収数：104団体

#### 1 活動内容

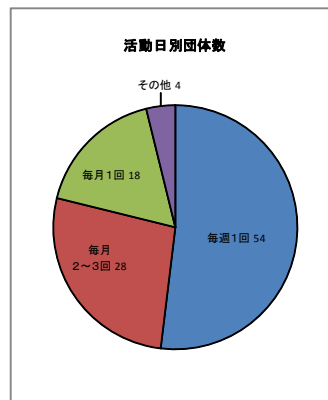
区分	団体数
スポーツ	26
学習	22
音楽	20
趣味	11
美術	9
健康	8
手芸	4
その他	4
合計	104

スポーツ：卓球、バドミントン等  
 学習：書道、パソコン等  
 音楽：歌、楽器練習等  
 趣味：写真、茶道、俳句等  
 美術：絵画、陶芸等  
 健康：ダンス、ヨガ等  
 手芸：ワイヤークラフト、パッチワーク等  
 その他：着付け等



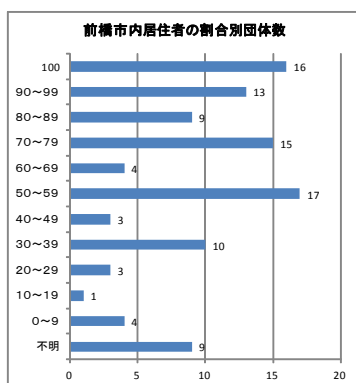
#### 2 活動日

回数	団体数
毎週1回	54
毎月2～3回	28
毎月1回	18
その他	4
合計	104



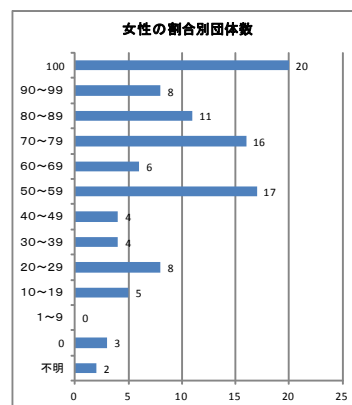
#### 3 団体構成員の居住地

前橋市内居住者の割合	団体数
不明	9
0～9	4
10～19	1
20～29	3
30～39	10
40～49	3
50～59	17
60～69	4
70～79	15
80～89	9
90～99	13
100	16
合計	104



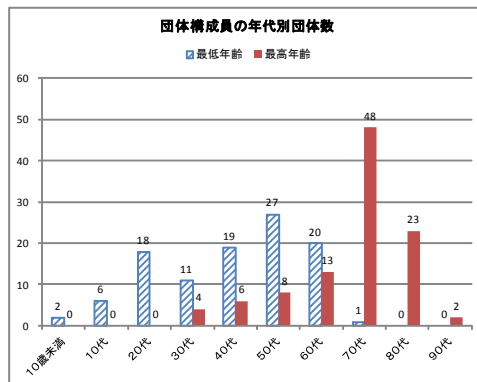
#### 4 団体構成員の男女比

女性の割合	団体数
不明	2
0	3
1～9	0
10～19	5
20～29	8
30～39	4
40～49	4
50～59	17
60～69	6
70～79	16
80～89	11
90～99	8
100	20
合計	104



#### 5 団体構成員の年齢

年代	最低年齢	最高年齢
10歳未満	2	0
10代	6	0
20代	18	0
30代	11	4
40代	19	6
50代	27	8
60代	20	13
70代	1	48
80代	0	23
90代	0	2
合計	104	104

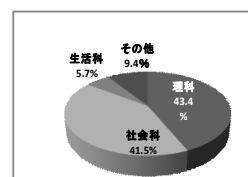


### 3 少年科学館利用者意識調査結果

#### 平成25年度少年科学館利用意識調査結果

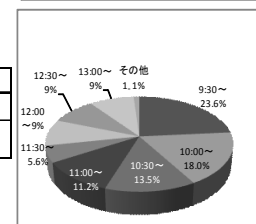
1. 今回少年科学館を利用したのはどんな理由からですか。

理由	理科学習	社会科見学	生活科	その他	合計
人数	23	22	3	5	53
全来館校との割合	43.4%	41.5%	5.7%	9.4%	100.0%



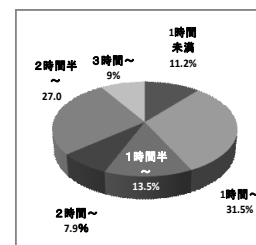
2. 来館した時間についてお聞かせください。

理由	9:30~	10:00~	10:30~	11:00~	11:30~	12:00~	12:30~	13:00~	その他	合計
人数	21	16	12	10	5	8	8	8	1	89
全来館校との割合	23.6%	18.0%	13.5%	11.2%	5.6%	9.0%	9.0%	9.0%	1.1%	100.0%



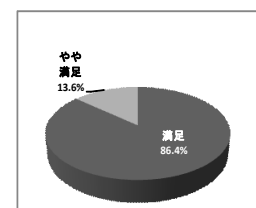
3. 少年科学館に滞在した時間はどのくらいですか。

理由	1時間未満	1時間~	1時間半~	2時間~	2時間半~	3時間~	合計
人数	10	28	12	7	24	8	89
全来館校との割合	11.2%	31.5%	13.5%	7.9%	27.0%	9.0%	100.0%



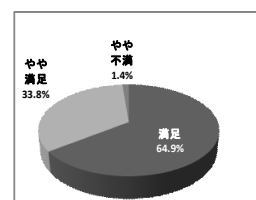
4. 科学展示室の展示内容や子どもたちの反応

理由	満足	やや満足	やや不満足	不満足	合計
人数	70	11	0	0	81
全来館校との割合	86.4%	13.6%	0.0%	0.0%	100.0%



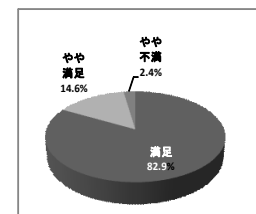
5. プラネタリウムの番組の内容や投影時間等

理由	満足	やや満足	やや不満足	不満足	合計
人数	48	25	1	0	74
全来館校との割合	64.9%	33.8%	1.4%	0.0%	100.0%



6. 天文コーナーの説明内容や時間等

理由	満足	やや満足	やや不満足	不満足	合計
人数	34	6	1	0	41
全来館校との割合	82.9%	14.6%	2.4%	0.0%	100.0%



7. 実験・工作の内容や作業する時間等

理由	満足	やや満足	やや不満足	不満足	合計
人数	28	2	0	0	30
全来館校との割合	93.3%	6.7%	0.0%	0.0%	100.0%

